

世帯構成と自助の取組み状況のクロス集計：（3市の回答を合計したクロス集計）

- ・単身世帯では、「食糧等の準備」が唯一 50%を切るなど、全体的に自助の取組み状況が低く、「特に取組みは行っていない」とする回答（30.5%）の選択率は、他の属性に比較して特に高い。
- ・3 世代世帯および夫婦のみの世帯では、避難場所や家屋の耐震化などを含め、他の属性に比較して自助の取組みが進んでいる。
- ・2 世代世帯の取組み状況は、回答率は全体の回答率を若干下回っているが、概ね全体と同様の状況である。

表 3-7 世帯構成と自助の取組み状況のクロス集計

		問17 世帯構成									
		単身		夫婦のみ		2世代世帯		3世代世帯		その他	
		回答者数	187 選択率 選択数÷属性 別回答者数	477 選択率 選択数÷属性 別回答者数	801 選択率 選択数÷属性 別回答者数	180 選択率 選択数÷属性 別回答者数	107 選択率 選択数÷属性 別回答者数				
問3 災害時に 自分を守る ための取 組み	食糧等を準備	79	42.2%	254	53.2%	420	52.4%	91	50.6%	45	42.1%
	避難場所を決定	72	38.5%	229	48.0%	366	45.7%	93	51.7%	51	47.7%
	家族との連絡方法	35	18.7%	144	30.2%	215	26.8%	57	31.7%	25	23.4%
	家具固定	39	20.9%	167	35.0%	244	30.5%	63	35.0%	32	29.9%
	防災訓練に参加	27	14.4%	109	22.9%	132	16.5%	41	22.8%	20	18.7%
	耐震化	18	9.6%	84	17.6%	134	16.7%	44	24.4%	18	16.8%
	浸水対策	8	4.3%	26	5.5%	33	4.1%	12	6.7%	6	5.6%
	安全な場所に移転	4	2.1%	11	2.3%	18	2.2%	4	2.2%	1	0.9%
	その他	5	2.7%	8	1.7%	13	1.6%	6	3.3%	5	4.7%
	特に取組みは行っていない	57	30.5%	84	17.6%	141	17.6%	30	16.7%	24	22.4%
	複数選択の選択項目の合計	344		1,116		1,716		441		227	

□：他の属性における選択率と比較して、特徴的な選択率

<クロス集計結果に対する考察>

- ・単身世帯での取組み状況が低いこととして、学生などの若年層では「仮住まい」との意識が高いことが影響していると想定される。また、持ち家でないと想定されることから、耐震化等も進められないものと考えられる。
- ・高齢者の単身世帯の場合は、災害の発生確率と費用負担等のバランス等の視点から、自助の取組みが進みにくいことが想定される。
- ・3 世代世帯は、世帯内に幼児や高齢者などの災害時要援護者が含まれ、自助の取組みを進める必要性が高いことが影響していることなどが想定される。
- ・夫婦のみの世帯で自助の取組みが比較的進んでいる要因としては、金銭的な面で比較的他の世帯属性に比較して有利となっている可能性が想定される。

世帯構成と地域のイベントへの参加状況のクロス集計

：(3市の回答を合計したクロス集計)

- ・「単身世帯」で参加率が低く、「夫婦のみ」の世帯および「3 世代世帯」では比較的参加率が高く 50%を超過している。
- ・2 世代世帯の参加状況は、全体の回答率を若干下回っているが、概ね全体と同様の状況である。

表 3-8 世帯構成と地域のイベントへの参加状況のクロス集計

		問17 世帯構成									
		単身		夫婦のみ		2世代世帯		3世代世帯		その他	
回答者数		187	選択率 選択数÷属性別回答者数	477	選択率 選択数÷属性別回答者数	801	選択率 選択数÷属性別回答者数	180	選択率 選択数÷属性別回答者数	107	選択率 選択数÷属性別回答者数
問 8 イ ベ ン ト の 参 加	参加している	46	24.6%	239	50.1%	350	43.7%	105	58.3%	41	38.3%
	したことがない	134	71.7%	224	47.0%	438	54.7%	71	39.4%	61	57.0%
	無回答	7	3.7%	14	2.9%	13	1.6%	4	2.2%	5	4.7%
	選択項目の合計	187		477		801		180		107	

□：他の属性における選択率と比較して、特徴的な選択率

<クロス集計結果に対する考察>

- ・3 世代世帯や夫婦のみの世帯の参加状況が高いことから、当該世帯を主な対象とした地域イベントとして開催することで、参加率の高いイベントの開催が期待される。
- ・今後、地域住民による防災活動等の地域イベントを活性化し、持続可能な活動をしていくためには、現在参加率の低い単身世帯に対して、積極的な参加を促すための施策・工夫が重要と考えられる。

		問17 世帯構成											
		単身		夫婦のみ		2世代世帯		3世代世帯		その他		無回答	
回答者数		187	選択率	477	選択率	801	選択率	180	選択率	107	選択率	11	選択率
問 8 イ ベ ン ト の 参 加	参加している	46	24.6%	239	50.1%	350	43.7%	105	58.3%	41	38.3%	5	45.5%
	したことがない	134	71.7%	224	47.0%	438	54.7%	71	39.4%	61	57.0%	5	45.5%
	無回答	7	3.7%	14	2.9%	13	1.6%	4	2.2%	5	4.7%	1	9.1%
	選択項目の合計	187		477		801		180		107		11	

居住年数と地域のイベントへの参加状況のクロス集計

：(3市の回答を合計したクロス集計)

- ・全体的な傾向として、「居住年数の少ない世帯」で参加率が低く、居住年数の多い世帯で参加率が高い傾向がある。

表 3-9 居住年数と地域のイベントへの参加状況のクロス集計

		問18 居住年数											
		1年未満		5年未満		10年未満		20年未満		30年未満		30年以上	
回答者数		83	選択率 選択数÷属性 別回答者数	210	選択率 選択数÷属性 別回答者数	175	選択率 選択数÷属性 別回答者数	289	選択率 選択数÷属性 別回答者数	353	選択率 選択数÷属性 別回答者数	647	選択率 選択数÷属性 別回答者数
問 8 イ ベ ン ト へ の 参 加	参加している	11	13.3%	50	23.8%	58	33.1%	145	50.2%	157	44.5%	363	56.1%
	したことがない	71	85.5%	157	74.8%	116	66.3%	137	47.4%	189	53.5%	259	40.0%
	無回答	1	1.2%	3	1.4%	1	0.6%	7	2.4%	7	2.0%	25	3.9%
	選択項目の合計	83		210		175		289		353		647	

 ：他の属性における選択率と比較して、特徴的な選択率

<クロス集計結果に対する考察>

- ・地域のイベント等の実施においては、居住年数が多い世帯の参加率が高く、地域活動の中心的な役割を担っている状況が推察される。
- ・居住年数の少ない世帯の参加率が低いことから、地域活動への参加メンバーが固定化している状況が想定される。
- ・今後、地域住民による防災活動等の地域イベントを活性化し、持続可能な活動していくためには、現在参加率の低い居住年数の少ない世帯に対して、積極的な参加を促すための施策・工夫が重要と考えられる。

回答者の年代と地域のイベントへの参加意欲のクロス集計

：(3市の回答を合計したクロス集計)

- ・比較的高齢な世代（50代～70代以上）において、積極的に参加したいとする回答が多く、若年世代（20代・30代）において、参加したくないとする回答が多い傾向がある。

表 3-10 回答者の年代と地域のイベントへの参加意欲のクロス集計

		問14 年代											
		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
回答者数		172	選択率 選択数÷属性 別回答者数	241	選択率 選択数÷属性 別回答者数	272	選択率 選択数÷属性 別回答者数	312	選択率 選択数÷属性 別回答者数	394	選択率 選択数÷属性 別回答者数	372	選択率 選択数÷属性 別回答者数
問9 地域活動への 参加意欲	積極的に参加したい	7	4.1%	14	5.8%	22	8.1%	54	17.3%	76	19.3%	60	16.1%
	出来れば参加したい	98	57.0%	144	59.8%	195	71.7%	186	59.6%	254	64.5%	223	59.9%
	余り参加したくない	45	26.2%	69	28.6%	43	15.8%	59	18.9%	42	10.7%	38	10.2%
	参加したくない	21	12.2%	14	5.8%	10	3.7%	11	3.5%	11	2.8%	25	6.7%
	無回答	1	0.6%	0	0.0%	2	0.7%	2	0.6%	11	2.8%	26	7.0%
	選択項目の合計	172		241		272		312		394		372	

□：他の属性における選択率と比較して、特徴的な選択率

<クロス集計結果に対する考察>

- ・参加意欲が高い50代・60代は、今後、大量に離職することが想定される団塊世代であり、地域における防災活動等への参加をとおして、地域住民による災害対策の取組みにおいて、大きな役割を担うことが期待される。
- ・災害発生時のマンパワーとして期待される若年世代における参加意欲の低下は、地域のイベントの参加者の固定化の一因となることが想定されるため、今後は若年世代の参加意欲を向上させ、具体的な参加に向けた検討や取組みが望ましいと考えられる。